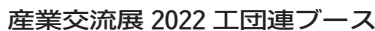


工団連

「助成事業」の積極的な活用で

団体・会員企業の更なる活性化を！



「ものづくり基盤技術強化支援事業」は地域の工業・産業団体の活動を支援するもの。団体自らが会員企業を対象とした事業の企画・実施に際し活用するものです。

本格スタート後12年目を迎える本事業は、年度を追うごとに現場の実態に即して改正され利用しやすい制度となってきた。

活用団体・事業の事例も年々増加していたが令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減少に転じた。令和5年度はやっと回復の兆しも予想され、地域会員団体のより一層の活用を期待したい。

【他方「専門家派遣事業」】依頼試験等助成事業は地域団体の会員企業が直接利用する助成事業で、2事業とも多くの会員企業に活用されている。

コロナ禍においても活用が継続されて来たが今年度もこれまで以上の活用を期待したい。

【ものづくり基盤技術強化支援事業】

東京都内で活動するものづくり中小企業を取巻く環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で見通しの不透明な困難な状況が続いていた。

本事業は工団連に加盟する地域の工業・産業団体等や会員企業が、ものづくり現場を取巻く厳しい経営環境に対応するために必要な基盤技術強化する取組みに対し、東京都からの支援を受け工団連が費用の2/3を補助するものです。

（事例1）展示会の開催や出展への支援

◆地域団体自らが展示会や見本市などを開催、また、自治体や企業・団体などが開催する展示会や見本市に出展し会員企業の優れた製品や技術のPRや販路開拓を支援する。

（事例2）先端・先進工場、施設の視察研修

◆会員企業の意識改革や人材育成、また最新技術の習得による技術向上に繋げる活動への支援。

近年は都内ものづくり現場の環境悪化により、団体に所属する優良会員企業の地方拠点を視察するケースが増加。実施に際してはコロナ禍における三密回避の行動を基本とした計画が求められる。

＊一般の見学ルートのみ

（事例3）

◆ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員の知識習得、意識の向上を支援。

コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催（展示会とオンライン同時開催）も対象となった。

《活動例》

・「会員企業優良事業所視察会」「先進事例からものづくり企業の課題を学ぶ」「ものづくり先進地域・企業研究」

《助成対象経費》

・現地まで及び視察先での交通費（バスの借上げ費用、高速道路代、駐車料金）、視察先講師（説明者）への謝金等が助成対象となる。また、工程が2日間に渡る場合でその目的・必要性が認められる場合には、宿泊費の一部も助成対象となる。

（事例4）

◆ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員の知識習得、意識の向上を支援。

コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催（展示会とオンライン同時開催）も対象となった。

《活動例》

・「会員企業優良事業所視察会」「先進事例からものづくり企業の課題を学ぶ」「ものづくり先進地域・企業研究」

《助成対象経費》

・現地まで及び視察先での交通費（バスの借上げ費用、高速道路代、駐車料金）、視察先講師（説明者）への謝金等が助成対象となる。また、工程が2日間に渡る場合でその目的・必要性が認められる場合には、宿泊費の一部も助成対象となる。

・ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術・サービス伝承講座」「次世代技術研究セミナー」「専門技術研修や注目話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

《助成対象経費》

- ・講師謝金、会場・施設・借上げ費用、資料作成・印刷等（外部委託費）が助成対象となる。

＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で紹介した事業は対面での実施困難に直面したが収束後においては対面での検討・工夫が必要。

（その他事例）

◆また、「ホームページの新規制作」「団体紹介動画制作」による情報発信力強化を目的とした事業も支援の対象となる。

《助成対象経費》

- ・ホームページ、紹介動画制作等に係る外部委託費（リニユーアルは助成対象外）

【補助内容】

- ・事業1件当たり360万円を限度として2／3の補助率で助成

＊残り1／3の経費については、区市等自治体の併用が可能です。

【利用の流れ】

④完了報告
⑤審査後に交付金額の確定・助成金支払
事例以外の場合でも助成対象となる場合があるので、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

「専門家派遣事業」

経営・技術の課題を解決！ 専門家を無料で派遣！

専門家派遣事業は、平成24年度に開始してから12年目を迎えるが、コロナ禍においても多くの企業に活用いただいていた。会員（新規会員も含む）の様々な経営・技術に関する課題の解決を、経験豊富な専門家が無料でお手伝いするもので、コロナ禍においては条件が全致すればオンライン併用でのアドバイス併用も可能となっている。この機会に工団連の専門家派遣事業をご利用いただき、経営課題の解決にお役立てください。

利用企業からは、専門家のアドバイスが「すぐに役に立った」「もっと派遣回数を増やしてほしい」などの声を多数いただいている。

また、本事業の利用をきっかけに入会するケ

企業から推薦された専門家の派遣も可能ですので詳細は工団連の担当者へご相談ください。

【費用】
専門家の報酬、派遣生までの交通費（原則として専門家の派遣先は都内）を工団連が負担します。*都外の拠点へ派遣の場合、交通費は専門家と個別にご相談ください。

【お申込み】
「専門家派遣事業利用申込書」を工団連のウェブサイトにダウンロードあるいはご案内チラシ裏面に、必要事項を記入・押印の上、所定の書類を同封し工団連まで郵送でお申込みください。登録専門家の利用申込の場合は、FAX、電子メールでも可能です。※会社概要及び所在地が分かるもの。ホームページのプリント可。（ない場合は結構です）

【ご利用の流れ】
①お申込み
（用紙は工団連のウェブサイトにダウンロード、ご案内チラシ裏面）
②専門家のマッチング（または企業推薦）
専門家を指名する（ご指定できません）
③派遣実施計画作成
相談にもとづき専門家が作成します

支援や開発支援等を受ける際の経費の一部を助成しています。

なお、申込みと試験実施が同日で、工団連への申込みが実施日以降になる場合でも受け付け可能ですので、担当者にご相談下さい。

I 事業内容

「工団連」の会員団体に所属する会員の製造業者等が、技術開発及製品開発等に係る課題の解決又は技術革新を図るため、試験研究機関で信頼試験等を行う場合、利用の際に要する経費の一部を助成する。

II 助成限度額

上限20万円（対象経費の2／3以内）
同じ年度内であれば上限に達するまでは何回でも利用出来ます。

III 助成対象経費

助成対象経費は、次の①に掲げる試験研究機関が提供するもので、②に掲げるサービスを利用した場合の利用料金です。

① 試験研究機関

(1) 大学又は高等専門学校

② 校

(2) 東京都立産業技術研究センター等の国地方公共団体が設置した機関

③ その他の認定機関

助成金等を受けていないこと。

・法人事業税、法人住民税等を滞納していないこと

V 申請・請求時に必要な添付資料

1 申請

(1) 利用する試験研究機及び依頼試験等の概がわかるもの。

(2) 前年度の法人事業税、法人住民税の納付確認できるもの（納書等）

2 請求

(1) 依頼試験等の依頼をする書類の写し、もしくは助成対象経費の払いが確認できるもの（領収書・振込依頼等）

(2) 工団連への申込み試験実施日以降にな場合でも受け付け可能です。

尚、工団連HP内に都産技研直結の技術相コナーも設置されており利用をお願いする。

◆各助成事業について問い合わせ先

(一社)東京工業団体
合会事務局

☎ 03-35546
— 25625

<https://www.tokyokoudanren.or.jp/>
「工団連」は、これ以外も地域の工業・産業団

② サービス

- (1) 技術相談
- (2) 依頼試験
- (3) 機器利用
- (4) オーダーメイド型
- (5) 技術支援

技術セミナー・講習会

Ⅳ 申請要件

- ・工団連加盟の地域団体の会員企業（新規会員含

と共催でセミナー・講習会の開催や会員企業の従業員を対象とした各種研修・セミナーを開催人材育成・教育のサポートをしている。

令和5年度もこれら助成事業を実施するの地域団体・会員企業の様子の積極的な利用をお願いします。

令和4年度事業活動実績

令和5年度がスタートし各団体においても新年度の事業に着手されていること存じます。

3年余りに亘り世界的に猛威を振るつた「新型コロナウイルス感染症」も、昨年後半より減少に転じようやく収束に向かいつつある。

工団連では、今年度も「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を支援事業の柱として進めて行くが、それ以外の自主事業も含めて、令和4年度の実績報告と令和5年度の計画(概要)を紹介する。

（各事業の概要は一面をご参照ください）

《ものづくり基盤技術強化支援事業》

地域の工業・産業団体が会員企業の支援を通して団体自らの基盤強化を目指す事業です。令和4年度は7地域団体が9事業で活用。助成金額は5,283千円であった。コロナ禍以前と比べると減少傾向は継続しているが、件数・金額とも



ものづくり展示会出展ブース



ものづくり現場視察



共催講演会の風景

令和3年度は「新型コロナウイルス感染症」拡大により交付決定事業の中止が6団体6事業の2,346千円と事業の半数弱にのぼったが令和4年度はゼロであったのが要因。

活用団体においては団体の活動力強化・会員企業支援で成果を上げたが、令和4年度も利用団体が固定化する傾向が継続している。

令和4年度に活用した7団体について実施数を見ると、3事業が1団体である以外は全団体が1事業となっている。また、事業内容では「展示会への出展助成」が6事業を占め、他は「視察研修」が3事業である。

展示会では全事業が会場方式の実施（オンライン開催併用含む）であり、開催中止も多く発生したこの2～3年の状況から変化が見られ今後に期待したい。また実施が難しい状況が続いていた「先進施設・工場等の視

察・研修も復活の兆しが見られ人的接触が主となる従来型の形態での事業実施への回帰の兆しも感じられる。

他方、工団連会員団体でのホームページ保有率はかなり高まり、令和4年度は新規の制作団体はなかった。とはいえ、もはやホームページは組織の標準装備と思われ、また当面は人的接触が制限される状況の継続も予想されることから引き続き情報整備強化への積極的な取組に期待したい。

工団連では今後も、情報収集・提供手段としてデジタル技術活用の重要性に鑑み、情報対応力強化に向けたPRと支援に注力したい。

本事業は、今年度も工団連の主要な助成事業として進めて行くので各団体の積極的な活用をお願いしたい。

協会（1件）769千円
・（一社）大田工業連合会（3件）2,749千円
・（一社）豊島産業協会（1件）652千円

・（一社）板橋産業連合会（1件）144千円
・（一社）練馬産業連合会（1件）213千円

《専門家派遣事業》
令和4年度の実績は、実施件数33件（企業、助成金額3,540千円）で、昨年度と比べて13件、1,275千円増加した。利用目的として

は、「助成金申請支援業務」が13件「経営・業務改善支援」が13件と両者で大半を占め、他には「経営計画策定支援」が5件などである。令和3年度との比較でも「助成金申請」「経営・業務改善支援」が多数を締め同様の結果となっている。

利用企業33社の所属地域団体数は8団体。また、5社は専門家派遣事業の利用を契機に入会しており、新規会員獲得の手段として有効といえる。

本事業に対する認知と内容の有効性理解は年々浸透しており、令和5年度も各種補助金の申請を検討している会員企業には積極的な活用のアドバースを申込御願います。

〔令和4年度活用企業の所属団体と企業数（新加入数）〕

・日暮里工業会…13社（4社）
・（一社）太田工業連合会…10社
・荒川中央工業会…3社（1社）

・（一社）板橋産業連合会…2社
・多摩高度化事業協同組合…2社

以下は各1社
・赤坂興業会
・（一社）東京都江東産業連盟
・（一社）目黒区産業連合会

《依頼試験等助成事業》
令和4年度は13件、金額は609千円であり、令和3年度と比べて、件数は3件、金額は624千円減少。

依頼試験の発生形態としては、「助成金申請支援業務」が13件「経営・業務改善支援」が13件と両者で大半を占め、他には「経営計画策定支援」が5件などである。令和3年度との比較でも「助成金申請」「経営・業務改善支援」が多数を締め同様の結果となっている。

利用企業33社の所属地域団体数は8団体。また、5社は専門家派遣事業の利用を契機に入会しており、新規会員獲得の手段として有効といえる。

本事業に対する認知と内容の有効性理解は年々浸透しており、令和5年度も各種補助金の申請を検討している会員企業には積極的な活用のアドバースを申込御願います。

〔令和4年度活用企業の所属団体と企業数（新加入数）〕

・日暮里工業会…13社（4社）
・（一社）太田工業連合会…10社
・荒川中央工業会…3社（1社）

理セミナー」が開催され地域団体の会員企業が多数参加した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から開催形態もオンライン（ハイブリッド）へと変化していたが令和4年度は後半より会場開催に戻った。

尚、コロナ禍に入ってから開催団体が減少傾向にあったが、今年度は各地域団体との連携をより進めテーマ開発、開催形態の工夫等積極的に支援したい。

〔令和4年度開催団体と合計参加者数〕

・（一社）世田谷工業振興協会…3件（149名）
・（一社）大田工業連合会…1件（105名）
・（一社）品川産業協

会…1件（20名）
《工団連自主企画事業》
工団連自主企画事業では、令和4年度も工団連が予算にはまだ余裕があり、本年度も更に積極的な利用を呼びかけたい。

〔令和4年度活用企業の所属団体と利用件数〕

・（一社）墨田産業協会…6件
・（一社）太田工業連合会…3件
・日暮里工業会…2件
・（一社）江戸川工場協会…1件
・葛飾区産業連盟…1件

たが直前の体調不良等で4名が直前に辞退するなどコロナ禍の影響を受ける結果となった。

更に年明け3月には中堅社員を対象とした「リーダー育成研修」を開催した。本研修は組織にとつての重要課題である人材育成をテーマとしたもの。

6地域団体12社より29名が参加。極めて活発な雰囲気で開催された。コロナ禍の収束も見据え、研修企画も10年目を迎えて定例開催に伴い、継続的な参加企業が年々増加するなど会員企業の認知・理解も高まっている。

工団連の助成により質の高い研修を極めて低廉な参加費用で提供することとは会員企業に大きなメリットと考えられる。令和5年度も一部のプログラムのリニューアルも検討しつつ、よりパワーアップした企画を積極的に進めたい。

《産業展への出展》
令和4年度も工団連の自主事業として2つの展示会に出展し、工団連事業のPRと地域団体や会員企業との交流をおこなった。

①「産業交流展2022」
新型コロナウイルス感染症拡大の影響から開催方式の変更もなされた同展は令和3年度に引き続き会場方式で10月に開催となった。工団連は後援団体として9回連続の出展となり、事業PR用ツールの更新や工団連紹介動画再編集を行った。今年度も展示用製品として世田谷工業振興協会の「A-E-TOWER」に加えて、町田テクノパーク「メロン水耕栽培キット」の展示にて臨み注目された。

（開催日程）
・令和4年10月19日（水）21日（金）
尚、今年度については、11月20日（月）22日（水）の3日間で展示会開催が予定されており準備を進めたい。

②「たまた工業交流展2022」
また2月には「たまた工業交流展」に出展した。本展は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3年連続の開催中止となっており、久々の開催となった。

展示会への出展は令和5年度も継続予定であるが、地域団体（会員企業）との連携をより強化したいと考えており企画を具体的に検討したい。

令和5年度も「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を支援事業の柱として進めて行くが、それ以外の自主事業も含めて、令和5年度の実績報告と令和6年度の計画(概要)を紹介する。

（各事業の概要は一面をご参照ください）

【地域団体のものづくり活動状況】

関係機関との連携のもと地域団体、会員企業への支援を強化して活動を進めて行くので積極的な活用をお願いしたい。



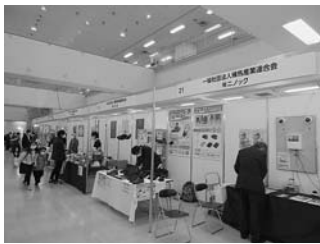
豊島産連ブース

3月の年度末に地域団体の事業活動が行われたが「ものづくり基盤技術強化支援事業」の助成金を積極的に活用した地域団体の活動状況を紹介します。

昨年度は、「新型コロナウイルス感染症」拡大の影響により展示会参加、視察研修など「ものづくり活動」に影響があったが本年度は三団体の事業が無事開催された。

（一社）豊島産業協会は3月2日～4日の3日間サンシャインシティで開催された「第16回としまMONOづくりメッセ」に出展し会員企業とものづくり中小企業の活動をPRした。会期中は5コマを借り上げ会員企業5社と団体が共同ブースに出展した。

同連合会としても7回目の出展であり、また4年振りの開催となり出展企業各社は積極的に来場者と交流した。複数回の出展企業も増え、自社をアピールする絶好の機会との理解も進んでおり今後の活動に期待したい。



練馬産連ブース

また、工団連が2月21日～22日の2日間「第20回たまた工業交流展」に出展したが、同展についても、3年連続での中止となっていた。多摩地区での活動強化を目指している工団連にとつても残念な状況が続いていたがコロナ感染症収束の気配も見え今後に期待したい。

今年度の事業活動もこうして終了したが、コロナ禍は我々の活動に大きなマイナスの影響を及ぼしており早期の収束を真に願うものである。

戻すことを期待したい。

また（一社）練馬産業連合会も「第16回としまMONOづくりメッセ」に出展し会員企業とものづくり中小企業の活動をPRした。会期中は5コマを借り上げ会員企業5社と団体が共同ブースに出展した。

同連合会としても7回目の出展であり、また4年振りの開催となり出展企業各社は積極的に来場者と交流した。複数回の出展企業も増え、自社をアピールする絶好の機会との理解も進んでおり今後の活動に期待したい。

（一社）豊島産業協会は3月2日～4日の3日間サンシャインシティで開催された「第16回としまMONOづくりメッセ」に出展し会員企業とものづくり中小企業の活動をPRした。会期中は5コマを借り上げ会員企業5社と団体が共同ブースに出展した。

同連合会としても7回目の出展であり、また4年振りの開催となり出展企業各社は積極的に来場者と交流した。複数回の出展企業も増え、自社をアピールする絶好の機会との理解も進んでおり今後の活動に期待したい。

また、工団連が2月21日～22日の2日間「第20回たまた工業交流展」に出展したが、同展についても、3年連続での中止となっていた。多摩地区での活動強化を目指している工団連にとつても残念な状況が続いていたがコロナ感染症収束の気配も見え今後に期待したい。

今年度の事業活動もこうして終了したが、コロナ禍は我々の活動に大きなマイナスの影響を及ぼしており早期の収束を真に願うものである。

今年度の事業活動もこうして終了したが、コロナ禍は我々の活動に大きなマイナスの影響を及ぼしており早期の収束を真に願うものである。

今年度の事業活動もこうして終了したが、コロナ禍は我々の活動に大きなマイナスの影響を及ぼしており早期の収束を真に願うものである。

東京都からのお知らせ

「ビジネスチャンス・ナビ」(以下、「チャンスナビ」)は、官民の入札・調達情報を一元的に集約した、オンラインのビジネスマッチングサイトです。登録やご利用は全て無料です。東京2020大会等を契機として開設されて以来、約7年が経過し、全国の事業者から約4万3千件の登録をいただいています。

コロナ禍を機に導入の

進んだテレワークや営業活動のデジタル化は、中

小企業にとって引き続き重要な課題となっておりま

す。当サイトは、オフィ

スや自宅のパソコン・スマートフォンから、外注

先の開拓や受注機会の情

報収集ができます。新し

い営業ツールとしてぜひ

「活用ください」。

【主な機能】

1. 都外郭団体等の電

子入札に参加

東京都の外郭団等が、

様々な電子入札案件を掲

載しており、チャンスナ

ビを通じて、入札に参加

することが出来ます。

2. 民間企業同士のビ

ジネスマッチング

企業の業種や規模を問

わず、物品の調達や新た

な技術を求める際に、チ

ヤンスナビに発注案件と

して掲載することができ

ます。また、中長期的な

ビジネスパートナーの開

拓なども案件として掲載

できます。

これらの案件に対し

て、概算見積の提出や技

術提案といった受注エン

トリーも可能です。

【民間発注案件掲載例】

・液状シリコンのゴム

ローラー製作

・太陽光発電に使用する

部材治具製作

・ディスプレイキットの

企画・製造

このほかにも、官公庁

の入札情報を一元的に閲

覧したり、登録企業情報

の検索・発信をしたりで

きるサイトとなっています。

【オンライン商談機能】

オンライン商談を希望

した発注案件に受注エン

トリーがあると、発注者

に対して、オンライン商

談ルームを貸し出しま

す。発注者とエントリー

した事業者は、貸与され

たルームで自由にオンラ

イン商談が可能です。

(商談ルームの貸与に

は、期限があります。)

【電子契約機能】

発注案件を掲載した事

業者と、受注エントリー

した事業者との契約締結

時に当サイトに提供する

電子契約サービスは無料

で利用することができま

す。電子契約は、契約書

の製本や郵送などの作業

や、印紙税や契約書の郵

送・保管費用などが不要

となるため、契約業務の

効率化やコストの削減に

つながります。

【代理店募集機能】

自社商品情報を登録す

ると、商品のPRができ

るほか、ご希望の場合は

付いて表示されます。)

販売網の拡大など、ビ

ジネスチャンスが広がり

ています。

【おすすめ案件通知機能】

チャンスナビユーザー

の中には、毎日サイトに

ログインし、受注エン

トリー可能な案件はす

ぐに社内展開するという、積

極的な活用をされている

方もいます。

しかし、多忙な中、こ

まめに掲載案件をチェッ

クするのが難しいとい

う方のために、『おす

め案件通知機能』という便

利な機能をご用意してい

ます。

あらかじめ自社に關連

するキーワードや業種等

を設定いただくと、該

当する案件が掲載された際

に、マイページ上に表示

されます。さらに、メー

ルでの通知を設定するこ

ともできます。

【充実したフォロー体制】

発注コーディネータや

全国ネットワークサポ

ーターと呼ばれる支援者

が、発注案件の掲載から

ニーズに沿ったマッチン

グ先のご紹介まで、円滑

な商談をサポートしま

す。

発注コーディネータは

首都圏に計13名、全国ネ

ットワークサポーターは

全国の各地方に計6名配

置されており、県をまた

いだマッチングも実現し

ています。

【利用企業の声】

○協力を会社を探すとき

は、弊社と同じ高品質を

保つ技術や実績があるの

か、そもそも信頼できる

のかといった裏付けがな

い、なかなか一歩前に

踏み出せません。そんな

時は、発注コーディネ

ーターが間にあって、弊社

とマッチしそうな企業をピ

ックアップしてくださる

ので大いに頼りにしてい

ます。

中小企業の経営者はみ

なさんだ忙いので、あ

らかじめ確度の高い候補

企業を絞ってもらえるの

は、効率が良く非常に有

難いです。

○チャンスナビ上に掲載

されている、自治体や企

業の発注情報から市場動

向が分かるため、自社の

販売戦略立案の判断材料

になります。

また、パートナーとな

る企業との出会いを通じ

て事業活動が活性化して

おり、大変助かっていま

す。

◆ユーザー登録・ログイ

ンもこちらから<https://www.chancenavi.jp/bcn/>

お問い合わせ

◆お問い合せ

ビジネスチャンス・ナビ

運営事務局

電話：03-5822-7239

メール：sme-webmast

er@chancenavi.jp

◆「第64回通常総会」

日時：5月11日(木)

正副会長会議 14時

・理事会 15時

会場：銀座プロッサム

中央会館7階

◆「令和5年度第1回正副

会長会議」「第1回理事

会」

日時：5月11日(木)

正副会長会議 14時

・理事会 15時

会場：銀座プロッサム

中央会館7階

◆「第64回通常総会」

日時：5月25日(木)

都府県説明15時

・通常総会 15時30分

・懇親会 16時30分

会場：銀座プロッサム

中央会館7階

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

なお、詳細につきましては

別添付ご案内しますの

で承知ください。

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

日時：6月5日(月)

15時

会場：東京都中小企業

会館8階C会議

室

◆「令和5年度第2回正

副会長会議」

日時：8月4日(金)

15時30分

会場：東京都中小企業

会館5階北側会

議室

◆「令和5年度第1回参

事会」

工団連ホームページの
閲覧・活用のお願い。

工団連ではこの間、情報収集・提供手段としてデジタル手段の活用を強化を図るべく、ホームページの構成・機能強化を継続している。

数年前の中規模改修、また、令和3年度末の大規模改修と並行して各年度毎にテーマを定め小規模改修を重ね機能強化を図ってきた。

近年のDXの進行により情報収集・提供手段としてデジタル手段の活用は進化を続けておりホームページは組織における情報整備の標準となっている。そのことは地域会

員団体におけるホームページの整備状況からも見て取れ、連携強化は必須といえる。

令和2年度以降、動画配信機能の強化を目指し「印刷媒体による情報」の迅速かつ的確な提供に際してのホームページの活用も含め、機関紙「工団連」による事業・活動報告と併せて「HP等による情報提供力」の更なる向上に注力したい。

また今後も、東京都等関係機関から提供される願いのないご意見・ご要望をお寄せください。

株式会社西務良

代表取締役社長 西村 宜明

主要製品1



主要製品2



食品等商品パッケージ後の自社製品



品の一つです。ご存じのとおり昨今のプラスチックを取り巻く状況は厳しいものがあります。プラスチック製品の中でも熱可塑性樹脂は再生可能であり、時代の環境ニーズが強まる中、こうした製品特性を活かせる素材だと思います。地球温暖化の急速な進行等我々を取り巻く環境は厳しさを増しており課題解決は急務となります。弊社もより一層環境保護と生活の便利さの共生を探り、貢献できる企業を目指します。皆様の一層のご支援をお願いいたします。

企業リレー探訪

26

西務良は1949年(昭和24年)にセルロイド加工場として祖父が当地で創業しました。その後父が承継し5年ほど前より私が3代目として経営を引き継いでおります。

創業当初は、戦後の混乱期でもあり、電力の供給もままならない状況の中での創業と聞いておりました。当時セルロイドは石鹸箱、文房具、玩具、雑貨等生活関連商品に幅広く使用されており消費者の生活向上に寄与しておりました。

しかしながら、可燃性が高くセルロイド製品の火災事故が多発し、1955年にアメリカで可燃物質規制法が成立。これによりセルロイド玩具等アメリカに輸出が出来なくなり、セルロイド製品の生産と消費は急速に落ち込みました。

そうした状況の中、代わってポリ塩化ビニル、ポリエチレン、ポリスチレン等合成樹脂が台頭し、インジェクション(射出成形)成形機、ブロー(中空成形機、バキューム(真空)成形機等が導入され事業を継続してきました。

そして現在は、約700種の自社オリジナル容器金型を駆使し生活者の様々なニーズに対応した形状、サイズの自社オリジナルプラスチック透明容器を開発し、多種多様な製品を取り揃えて市場に提供しております。

また、主力商品のプラスチック透明容器以外でも協力工場との連携の下、各種プラスチック製品、加工品も取り扱い事業分野拡大を図っておりますが、中でも「折りたたみ式クリアケース」は主要商

品の一つです。ご存じのとおり昨今のプラスチックを取り巻く状況は厳しいものがあります。プラスチック製品の中でも熱可塑性樹脂は再生可能であり、時代の環境ニーズが強まる中、こうした製品特性を活かせる素材だと思います。地球温暖化の急速な進行等我々を取り巻く環境は厳しさを増しており課題解決は急務となります。弊社もより一層環境保護と生活の便利さの共生を探り、貢献できる企業を目指します。皆様の一層のご支援をお願いいたします。

所属団体：上平井産業連合会所属
創業：1949年2月
設立年：1964年5月
資本金：3,200万円
事業内容：
・透明プラスチック既成容器製造販売
・透明プラスチックシート製容器製造販売
・汎用樹脂・特殊樹脂の各種加工（射出成型・中空成形・真空成型・打ち抜き・プレス成型と曲げ・接着）
・機械加工及び手作り加工によるディスプレイ制作
・オリジナル・バラエティ雑貨・文具製造販売とOEM製品製造、企画デザイン・製作

工団連からのお知らせ

令和5年度工団連主催の研修計画

平成26年度より実施している研修事業については、令和5年度「人材育成研修年間実施企画」を以下の通り計画している。

会員企業の人材育成支援を図ることを目的に、企業単独では実施が難しい中小企業の人材育成研修を工団連事業東京都補助事業として実施する。

会員企業のニーズに鑑み以下の人材育成研修企画3メニューの研修会を地域31団体との共催で開催する。

工団連が主催することに参加費用も極めて低廉に設定しており、本研修の主旨をご理解いただき、会員企業への案内をお願いする。

◆「新入社員ビジネスマナー研修」
(本紙で既報のとおり)4月4日～5日の両日会場受講研修で実施し終了した。

◆「中堅社員対象テーマ解決型研修」
(テーマ)「問題解決」「課題対応」
＊詳細は今後検討する(対象)象

◆「課題・問題解決に対するスキルアップ向上を目指す中堅社員方」
(開催日時)令和5年秋実施予定(開催期間)1日(定員)30名(研修効果)

◆「中堅社員対象リーダーシップ研修」
(対象)象
・中堅管理者、初任管理職(候補含む)者(開催日時)令和6年2月予定(開催期間)1日(定員)30名(研修効果)

◆「自己のリーダーシップスキルの向上」
・組織の動かし方の体得と目標達成のためのスキルアップ
・部下が継続的に育つ組織をつくり上げる。

◆「各研修の詳細が決定次第、所属する地域団体からのチラシ送付、また工団連機関紙・HP・メルマガ等でお知らせします。また、新規の研修企画の検討も進めますので事務局迄ご意見・ご要望をお寄せください。

工団連主催・32地域団体共催「研修報告！」

工団連では、令和4年度研修企画第3弾として、3月2日会員企業の中堅社員を対象に「リーダーシップ研修」を会場対面方式で開催した。本研修は「メンバーのやる気を引き出し、組織力を上げる」メインテーマに「部下育成の土台となる信頼関係構築方法」を具体的に検証した。

研修では価値観の多様化している部下に対してリーダーとしての自己課題を認識し信頼を築く円滑なコミュニケーション方法を学習。当日は6地域団体の12社より29名の中堅・ベテラン社員が参加し講義、個人・グループワークに熱心に取り組んだ。今回は新型コロナウイルス感染症収束の気配も見えまた各企業にとってもより関心の高いテーマでもあり多数の参加を得た。各社を代表する参加者は問題意識も明確で、終始熱心に課題に取り組んでいた。終了後のアンケートでは満足度についても全員から前向きな評価・感想が多く挙げられた。

具体的な意見では「様々な企業種・立場の他社の方とのディスカッションは貴重な機会を得られた」「他社も同様の課題を抱えていることが分かり改善意欲が沸いた」「また、「相手(部下)との価値観の違いを理解して信頼関係を作る」ことの重要さが分かった」等感想が多く参加者からあげられ、今後の実務場面で成果を期待したい。

◆「参加者の所属団体」
(一社) 東京都江東産業連盟 1社 7名
(一社) 品川産業協会 1社 1名
(一社) 中野工業産業協会 1社 2名
(一社) 板橋産業連合会 5社 10名

◆「研修の狙い」を「社会人としての最低限必要な知識の習得」とし、「学生から社会人への意識の切り替えと新人としての心構えの確立」「ビジネスマナーの必要性を理解し、能動的な新人へ育成」「実践的な内容でビジネスマナーの定着化を図る」とした。

◆「本年度は3地域団体、3企業から4人のフレッシュメンバーが参加し社会人として初めての講義とグループワークに真剣なまなざしで積極的に取り組んだが、今回は参加者数が少ないことから連携研修機関との共催研修としての実施となった。2日間わたる講義では「社会人としての基本

◆「研修の狙い」を「社会人としての最低限必要な知識の習得」とし、「学生から社会人への意識の切り替えと新人としての心構えの確立」「ビジネスマナーの必要性を理解し、能動的な新人へ育成」「実践的な内容でビジネスマナーの定着化を図る」とした。

◆「本年度は3地域団体、3企業から4人のフレッシュメンバーが参加し社会人として初めての講義とグループワークに真剣なまなざしで積極的に取り組んだが、今回は参加者数が少ないことから連携研修機関との共催研修としての実施となった。2日間わたる講義では「社会人としての基本

◆「研修の狙い」を「社会人としての最低限必要な知識の習得」とし、「学生から社会人への意識の切り替えと新人としての心構えの確立」「ビジネスマナーの必要性を理解し、能動的な新人へ育成」「実践的な内容でビジネスマナーの定着化を図る」とした。

◆「本年度は3地域団体、3企業から4人のフレッシュメンバーが参加し社会人として初めての講義とグループワークに真剣なまなざしで積極的に取り組んだが、今回は参加者数が少ないことから連携研修機関との共催研修としての実施となった。2日間わたる講義では「社会人としての基本

令和5年度工団連事業(予定)

令和5年度工団連の月別事業予定は次のとおり。

◆「新入社員ビジネスマナー研修(4～5日)」
・機関紙工団連5月号
・第1回正副会長会議・第1回理事会(11日)
・第64回工団連通常総会(25日)

◆「第1回正副会長会議(5日)」
・第1回正副会長会議(5日)
・第2回正副会長会議(5日)
・第3回正副会長会議(5日)
・第4回正副会長会議(5日)
・第5回正副会長会議(5日)
・第6回正副会長会議(5日)
・第7回正副会長会議(5日)
・第8回正副会長会議(5日)
・第9回正副会長会議(5日)
・第10回正副会長会議(5日)
・第11回正副会長会議(5日)
・第12回正副会長会議(5日)

◆「第2回正副会長会議(4日)」
・第2回正副会長会議(4日)
・第3回正副会長会議(4日)
・第4回正副会長会議(4日)
・第5回正副会長会議(4日)
・第6回正副会長会議(4日)
・第7回正副会長会議(4日)
・第8回正副会長会議(4日)
・第9回正副会長会議(4日)
・第10回正副会長会議(4日)
・第11回正副会長会議(4日)
・第12回正副会長会議(4日)

◆「第3回正副会長会議(初旬)」
・第3回正副会長会議(初旬)
・第4回正副会長会議(初旬)
・第5回正副会長会議(初旬)
・第6回正副会長会議(初旬)
・第7回正副会長会議(初旬)
・第8回正副会長会議(初旬)
・第9回正副会長会議(初旬)
・第10回正副会長会議(初旬)
・第11回正副会長会議(初旬)
・第12回正副会長会議(初旬)

◆「第4回正副会長会議(初旬)」
・第4回正副会長会議(初旬)
・第5回正副会長会議(初旬)
・第6回正副会長会議(初旬)
・第7回正副会長会議(初旬)
・第8回正副会長会議(初旬)
・第9回正副会長会議(初旬)
・第10回正副会長会議(初旬)
・第11回正副会長会議(初旬)
・第12回正副会長会議(初旬)

◆「第5回正副会長会議(初旬)」
・第5回正副会長会議(初旬)
・第6回正副会長会議(初旬)
・第7回正副会長会議(初旬)
・第8回正副会長会議(初旬)
・第9回正副会長会議(初旬)
・第10回正副会長会議(初旬)
・第11回正副会長会議(初旬)
・第12回正副会長会議(初旬)

◆「第6回正副会長会議(初旬)」
・第6回正副会長会議(初旬)
・第7回正副会長会議(初旬)
・第8回正副会長会議(初旬)
・第9回正副会長会議(初旬)
・第10回正副会長会議(初旬)
・第11回正副会長会議(初旬)
・第12回正副会長会議(初旬)

◆「第7回正副会長会議(初旬)」
・第7回正副会長会議(初旬)
・第8回正副会長会議(初旬)
・第9回正副会長会議(初旬)
・第10回正副会長会議(初旬)
・第11回正副会長会議(初旬)
・第12回正副会長会議(初旬)